

伊藤忠エネクス株式会社

(東証プライム 証券コード：8133)

2024年3月期第3四半期 決算補足説明資料

2024年1月31日

ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り及び当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることあり得ます。したがって、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記のとおり表記を置き換えております。

「営業活動に係る利益」	⇒ 「営業利益」
「当社株主に帰属する四半期純利益」	⇒ 「四半期純利益」

業績ハイライト

2024年3月期第3四半期 決算概要

- 「**第3四半期純利益**」は、前年同期差 24億円増加の**132億円**。
- 産業ビジネス事業における前年同期好調の反動があったものの、自動車ディーラー事業の貢献及び資産入れ替えの為の固定資産売却益により増益。

売上収益

7,094億円 (前年同期比△7.0%)

営業利益

225億円 (前年同期比+32.7%)

売上
総利益

667億円 (前年同期比△0.6%)

四半期
純利益

132億円 (前年同期比+22.6%)



目次

◇ 2024年3月期第3四半期決算概要

- ① 全社概要
- ② セグメント別概要

◇ Appendix

2024年3月期第3四半期決算概要

① 全社概要

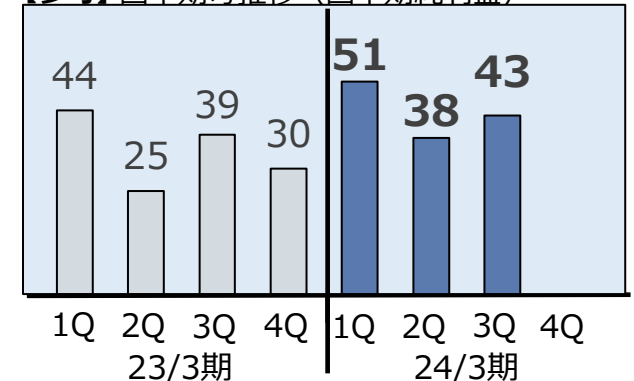
2024年3月期第3四半期 決算/サマリー

(億円)	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減
売上収益	7,630	7,094	△536
売上総利益	671	667	△4
販管費	▲502	▲511	△9
固定資産損益	▲3	62	+64
営業利益	169	225	+55
持分法による投資損益	16	11	△6
四半期純利益	108	132	+24
売上総利益に対する販管費率	74.8%	76.6%	+1.8 pt
中間配当 (円/株)	24	26	+2

23年度 通期計画	進捗率
9,700*	73%
209	108%
135	98%

※売上収益は2024年1月31日に当初の12,000億円から9,700億円に通期業績予想の修正を行っております。

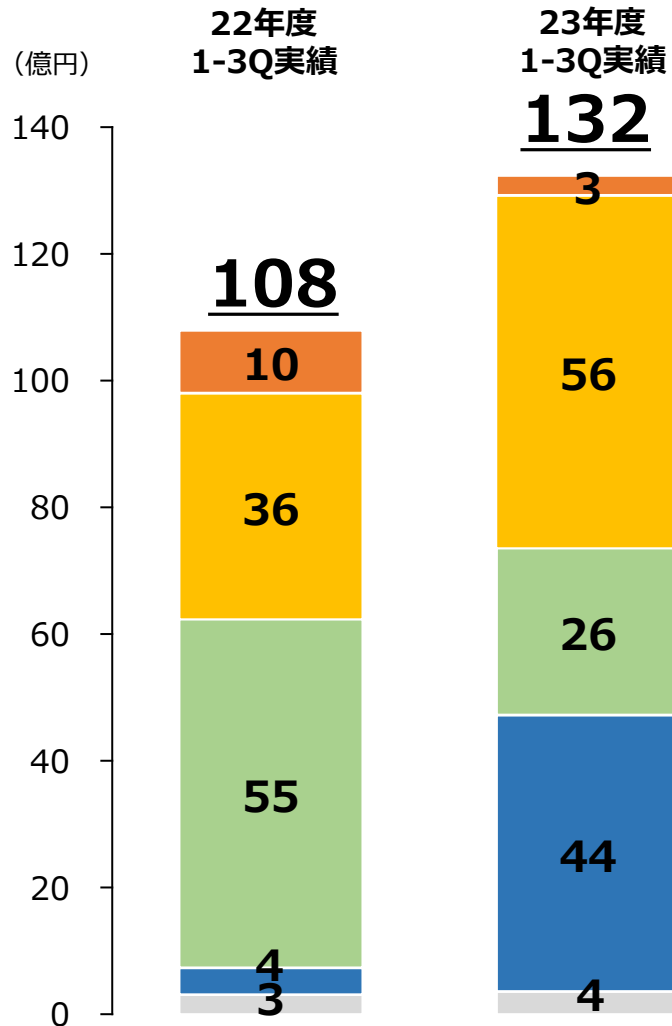
【参考】四半期毎推移（四半期純利益）



□ 「第3四半期純利益」は、前年同期差24億円増加の132億円。

□ 産業ビジネス事業における前年同期好調の反動があったものの、自動車ディーラー事業が好調に推移したことに加え、資産入れ替えの為に固定資産売却益により増益。

セグメント別 第3四半期純利益



主たる増減要因

■ ホームライフ(前年同期差：△7億円、計画進捗率：12%)

LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響により減益

■ カーライフ(前年同期差：+20億円、計画進捗率：129%)

自動車ディーラー事業の貢献とCS跡地の売却益により増益

■ 産業ビジネス(前年同期差：△29億円、計画進捗率：85%)

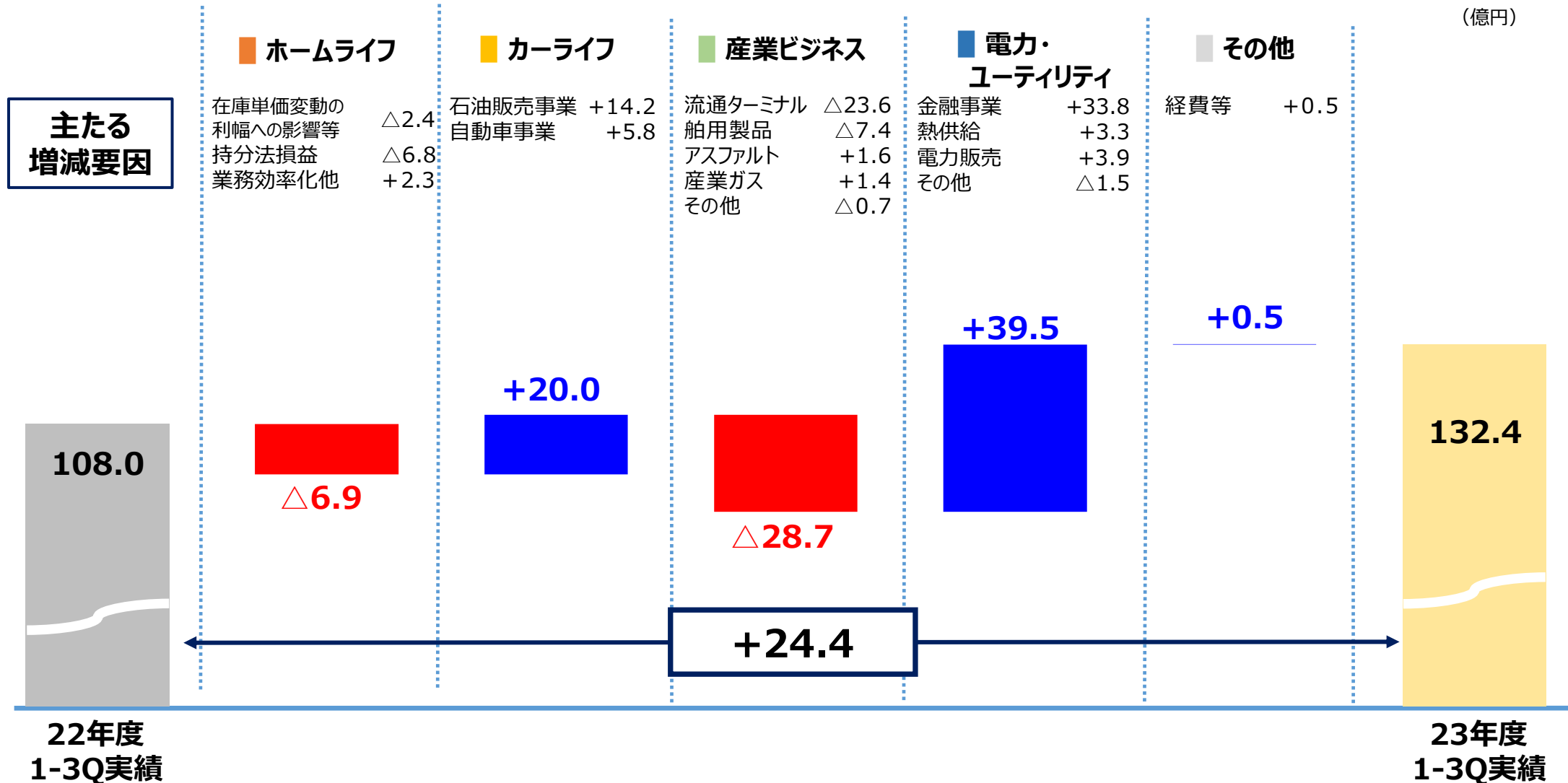
前年同期に好調であった流通ターミナル事業・船舶燃料販売事業等の反動により減益

■ 電力・ユーティリティ(前年同期差：+39億円、計画進捗率：118%)

電力小売事業の改善とメガソーラー売却益により大幅増益

(※) CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所

セグメント別 第3四半期純利益分析

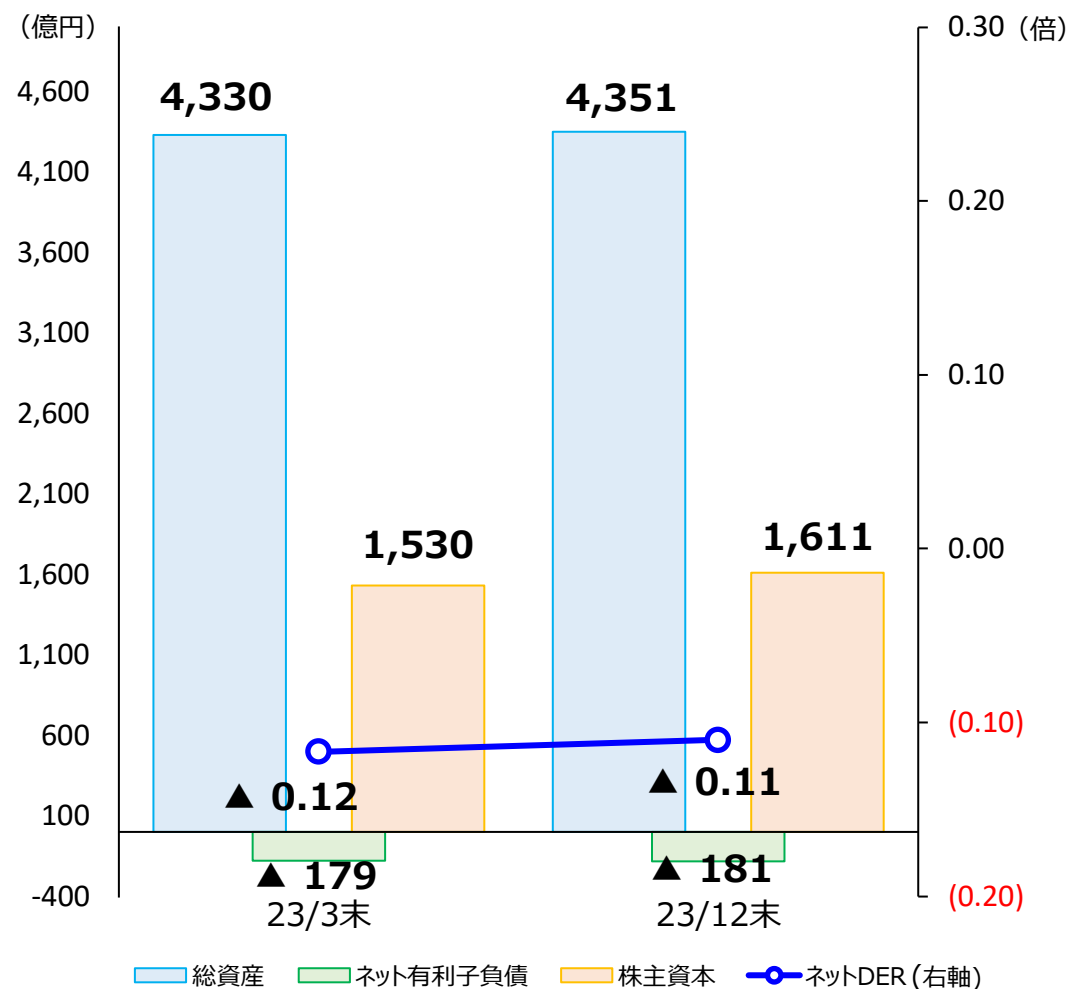


財政状態

季節要因等の影響で営業債権増加

- **総資産** : 季節要因等の影響で営業債権増加により、前期末比**20億円**増加し、**4,351億**。
- **株主資本** : 当期純利益の積上げ等により、前期末比**82億円**増加し、**1,611億円**。
- **PBR** : 株価上昇により、前期末比**0.25倍**改善し、**1.08倍**。

(億円)	23年3月末 実績	23年12月末 実績	増減
総資産	4,330	4,351	+ 20
ネット有利子負債	▲179	▲181	△ 3
株主資本	1,530	1,611	+ 82
株主資本比率	35.3%	37.0%	+1.7 pt
ネットDER	▲0.12倍	▲ 0.11倍	+0.01倍
PBR	0.83倍	1.08倍	+0.25倍



キャッシュ・フロー

引き続き潤沢な営業キャッシュフローを創出

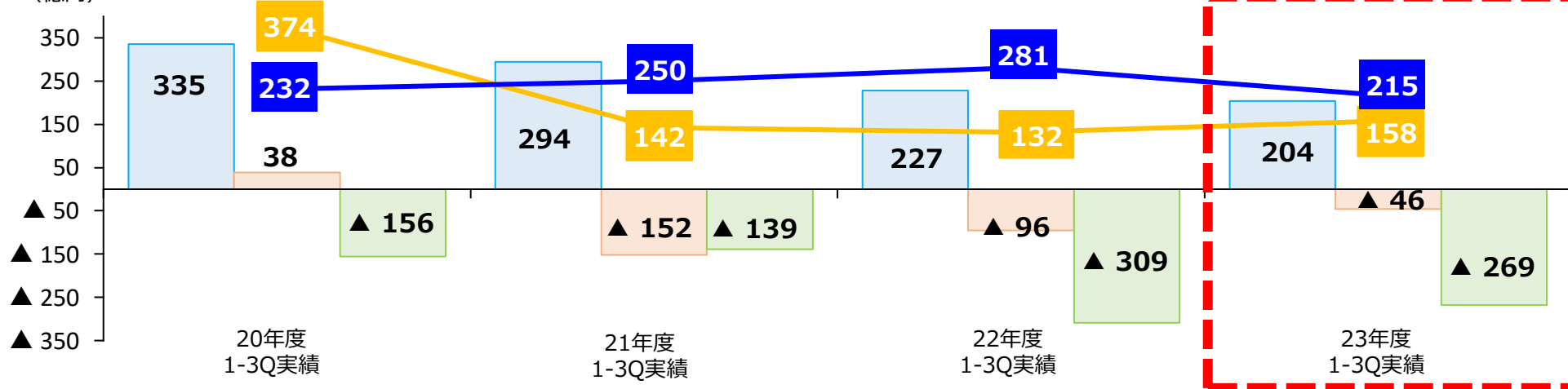
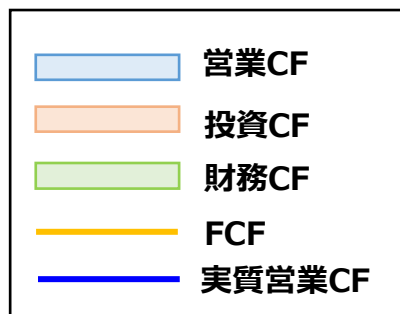
キャッシュ・フロー (億円)	20年度 1-3Q実績	21年度 1-3Q実績	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	335	294	227	204
投資活動によるキャッシュ・フロー	38	▲152	▲96	▲46
(フリー・キャッシュ・フロー)	374	142	132	158
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲156	▲139	▲309	▲269

実質的なキャッシュ・フロー

実質営業キャッシュ・フロー (※)	232	250	281	215
-------------------	-----	-----	-----	------------

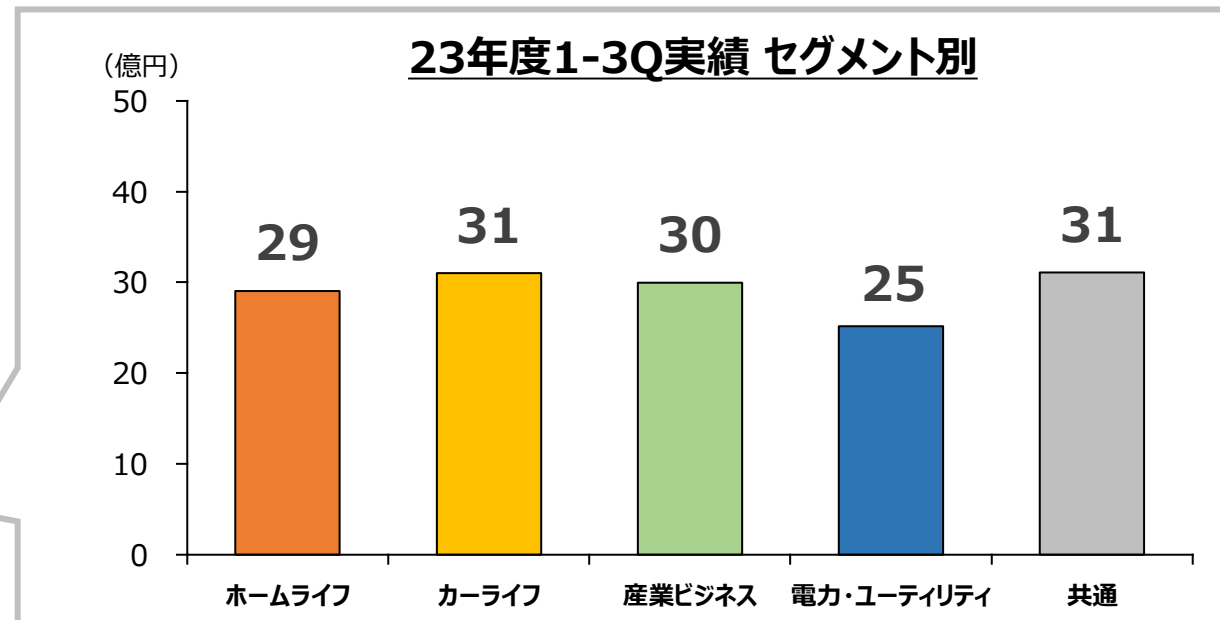
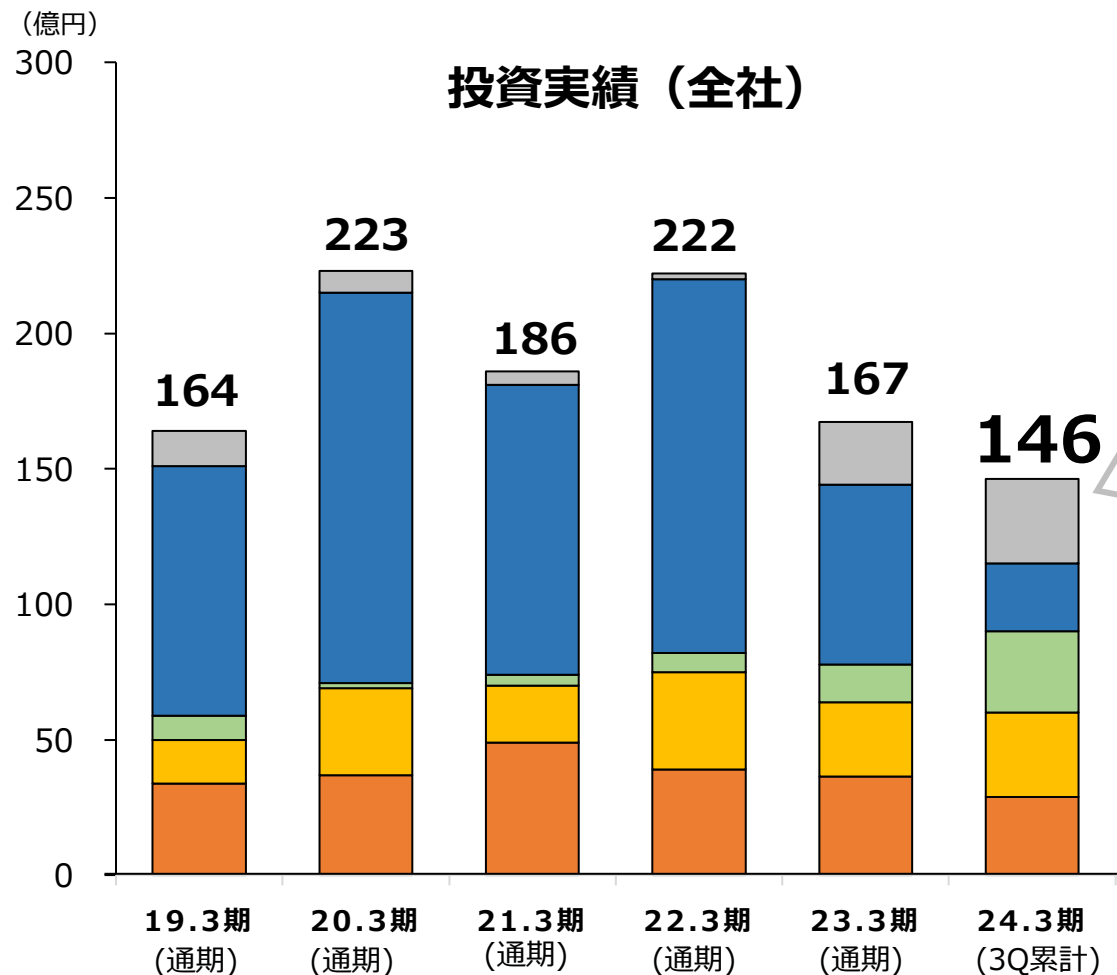
(※) 「営業CF」-「運転資金等の増減」

(億円)



投資の推移

営業権の買収・発電所投資・DX投資等に着手



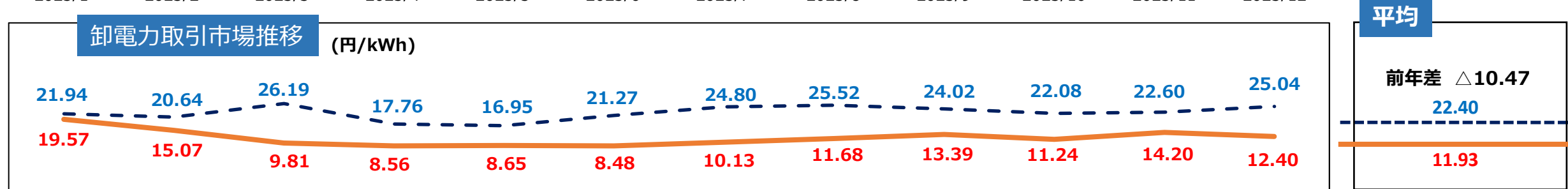
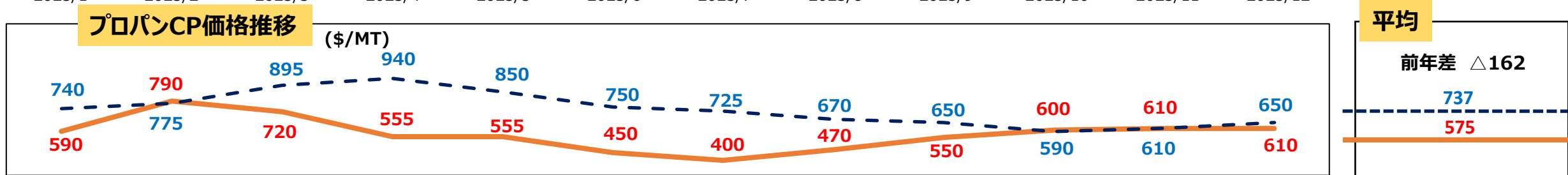
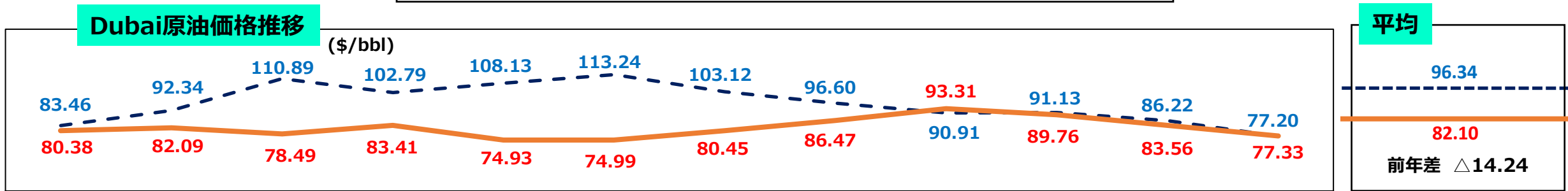
主な新規・戦略投資実績

ホームライフ	営業権買収、LPWA投資 (※) 等
カーライフ	自動車アフターマーケットへの投資 等
産業ビジネス	産業ガス関連設備新設、改質アスファルト事業投資 等
電力・ユーティリティ	太陽光発電投資、デマンドレスポンス関連投資 等
共通	新基幹システム構築、研修所新設 等

(※) Low Power Wide Areaの略称であり、消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式

(参考) 市場動向 原油価格は下落傾向、CP価格・電力価格は横ばいで推移

— 直近一年 (2023.1~2023.12) - - - 前年同月



2024年3月期第3四半期決算概要

② セグメント別概要

セグメント別業績

(億円)		22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減	増減率 %	23年度 通期計画	進捗率
■ 全社	売上収益	7,630	7,094	△536	△7.0%	9,700※	73%
	営業利益	169	225	+55	+32.7%	209	108%
	四半期純利益	108	132	+24	+22.6%	135	98%
■ ホームライフ	売上収益	586	497	△89	△15.2%	—	—
	営業利益	6	3	△2	△38.5%	—	—
	四半期純利益	10	3	△7	△68.6%	27	12%
■ カーライフ	売上収益	4,257	4,603	+346	+8.1%	—	—
	営業利益	67	103	+36	+54.0%	—	—
	四半期純利益	36	56	+20	+56.2%	43	129%
■ 産業ビジネス	売上収益	1,909	1,082	△827	△43.3%	—	—
	営業利益	80	37	△43	△53.5%	—	—
	四半期純利益	55	26	△29	△52.2%	31	85%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	878	912	+33	+3.8%	—	—
	営業利益	11	74	+63	+552.8%	—	—
	四半期純利益	4	44	+39	+944.7%	37	118%

※売上収益は2024年1月31日に当初の12,000億円から9,700億円に通期業績予想の修正を行っております。

ホームライフ部門

LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響により減益

(億円)

	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減
売上総利益	126	120	△6
販管費	▲122	▲ 119	+2
営業利益	6	3	△2
持分法損益	11	4	△7
四半期純利益	10	3	△7

主たる増減要因 (四半期純利益)

直売顧客軒数は、新規顧客の獲得や営業権買収の推進により、前期末より約10千軒増の約574千軒。LPガス販売数量は、平均気温が前年同期を上回ったこと等が影響し、前年同期を下回る。損益面は、LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅へのマイナス影響により減益。

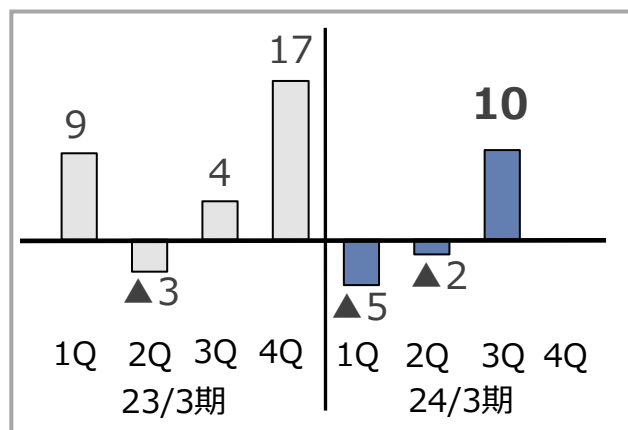
23年度
通期計画

進捗率

27

12%

四半期毎推移 (四半期純利益)



主な関係会社損益

	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	3	3	△1
エコア (当社持分51%)	3	3	△1
エネアーク (当社持分50%)	3	2	△1

顧客軒数(千軒)

	23年 3月末	23年 12月末	増減
LPガス直売軒数	565	574	+10

販売数量

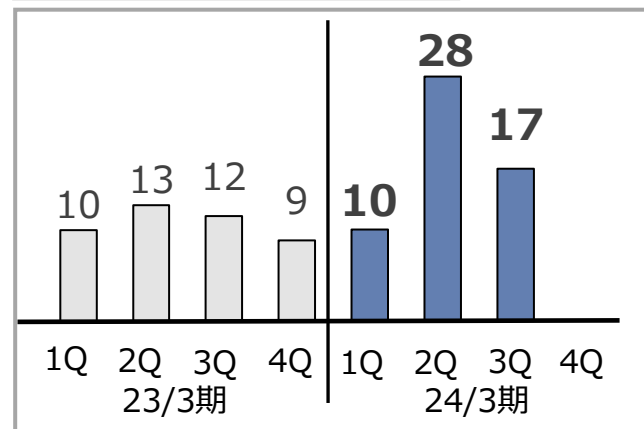
	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減比
LPガス(千トン)	311	292	△6%

カーライフ部門

自動車ディーラー事業の貢献とCS跡地の売却益により増益

	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減	主たる増減要因 (四半期純利益)	23年度 通期計画	進捗率
売上総利益	360	393	+33		CS数は前期末より30ヵ所減の1,580ヵ所。石油製品の販売数量は需要回復傾向にあり前年同期を上回る。自動車販売台数は、半導体の供給回復により新車の納車が好調に推移し、前年同期を上回る。損益面は、ディーラー事業の新型車販売が好調に推移したこと、CS跡地の売却に伴う一過性の利益により増益。	
販管費	▲296	▲304	△8			
固定資産損益	▲1	12	+13			
営業利益	67	103	+36			
持分法損益	0	1	+1			
四半期純利益	36	56	+20			43

四半期毎推移（四半期純利益）



主な関係会社損益	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減
エネクスフリート	17	21	+4
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	8	14	+6

販売数量	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減比
ガソリン(千KL)	1,627	1,625	△0%
軽油(千KL)	1,877	2,091	+11%
新車(千台)	18	20	+10%
中古車(千台)	13	14	+3%

産業ビジネス部門

前年同期に好調であった流通ターミナル事業等の反動により減益

(億円)

	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減
売上総利益	132	86	△46
販管費	▲45	▲47	△1
営業利益	80	37	△43
持分法損益	1	1	+0
四半期純利益	55	26	△29

主たる増減要因
(四半期純利益)

船舶燃料事業は外航船向け取引の一部縮小により販売数量は前年同期を下回る。アドブルー販売事業は販路開拓が順調に進み、販売数量は前年同期を上回る。損益面は、アスファルト販売事業及び産業ガス事業が好調に推移したものの、前年同期に好調であった流通ターミナル事業や船舶燃料販売事業等の反動により減益。

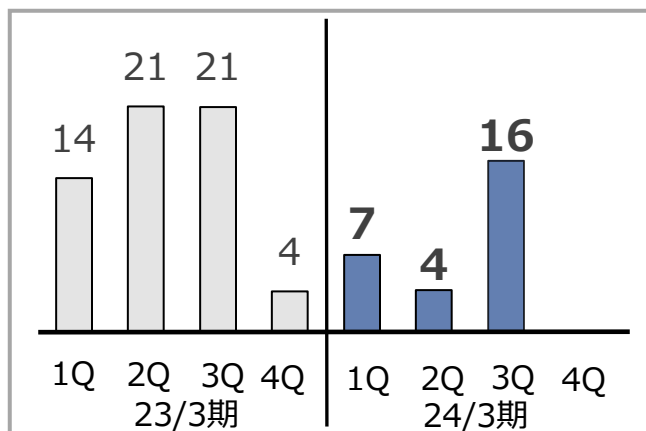
23年度
通期計画

進捗率

31

85%

四半期毎推移（四半期純利益）



主な関係会社損益

	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減
伊藤忠工業ガス	3	4	+1

販売数量

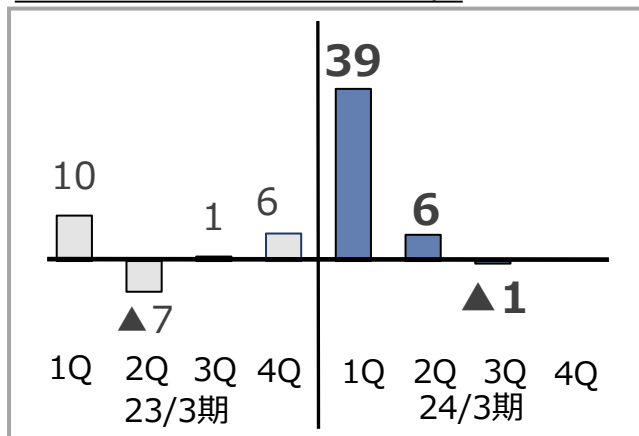
	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減比
重油(千KL)	1,259	779	△38%
アスファルト(千t)	167	204	+23%
産業用ガス(千t)	49	49	△1%
アドブルー(千KL)	72	80	+11%

電力・ユーティリティ部門

電力小売事業の改善とメガソーラー売却益により大幅増益

	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減	主たる増減要因 (四半期純利益)	23年度 通期計画	進捗率
売上総利益	53	68	+15	電力小売事業の販売数量は、低圧は新規契約の獲得により前年同期を上回るが、高圧は採算販売により前期を下回り、全体では前年同期を下回る。熱供給事業は、平均気温が前年同期を上回ったことに伴う空調利用の増加により販売熱量は前年同期を上回る。損益面は、販売価格改定による電力小売事業の改善と大規模太陽光発電所(メガソーラー)売却による一過性利益により大幅増益。	37	118%
販管費	▲45	▲48	△3			
固定資産損益	▲1	49	+50			
営業利益	11	74	+63			
持分法損益	4	4	+0			
四半期純利益	4	44	+39			

四半期毎推移 (四半期純利益)



主な関係会社損益	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減	販売数量	22年度 1-3Q実績	23年度 1-3Q実績	増減比	
エネクス電力グループ	8	8	△0	電力小売 (GWh)※	1,541	1,448	△6%	
エネクスライフサービス	2	4	+2	内訳	高圧販売※	980	697	△29%
東京都市サービス (当社持分66.6%)	6	9	+3		低圧販売※	561	751	+34%
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	5	3	△2	蒸気(千トン)	302	246	△19%	
顧客件数 (千件)	23年 3月末	23年 12月末	増減	熱供給量(TJ)	965	1,041	+8%	
電力供給件数 (全社計)	334	319	△14					

※速報値ベースでの算出、電力小売については、取次数量を含む

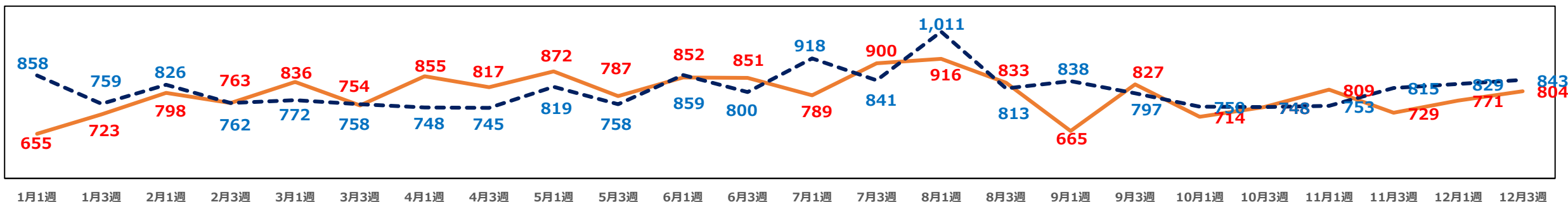
Appendix

Appendix

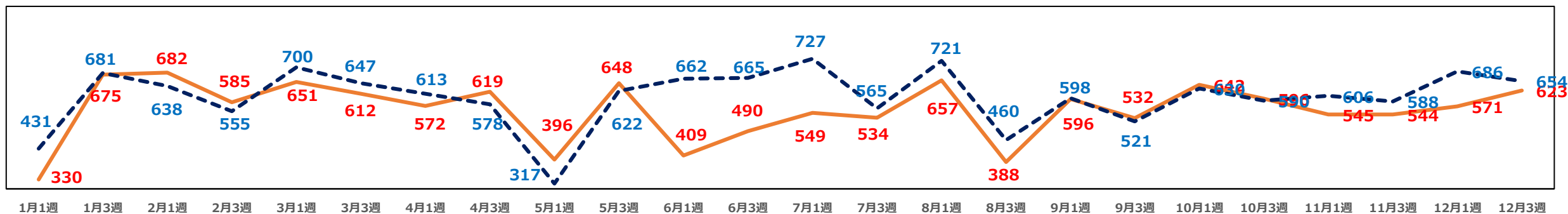
【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計)

ガソリン週間出荷量 単位(千KL)

— 直近一年 (2023.1~2023.12) - - - 前年同月



軽油週間出荷量 単位(千KL)



※ 石油連盟の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】LPガス月別販売数量(12月～11月 全国統計)

単位(千 t)

	12月			1月			2月			3月			4月			5月		
	2021	2022	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減
家庭・業務用	849	810	△5%	835	822	△2%	800	765	△4%	806	722	△10%	621	566	△9%	529	533	+1%
自動車用	37	32	△13%	30	28	△8%	26	28	+8%	31	29	△6%	31	28	△10%	30	29	△2%
合計	886	843	△5%	865	850	△2%	826	793	△4%	837	751	△10%	652	594	△9%	559	563	+1%

	6月			7月			8月			9月			10月			11月			合計		
	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭・業務用	499	465	△7%	448	430	△4%	402	409	+2%	440	393	△11%	492	471	△4%	621	595	△4%	7,342	6,980	△5%
自動車用	32	29	△8%	34	32	△6%	32	31	△1%	31	29	△6%	30	28	△8%	31	28	△10%	374	352	△6%
合計	530	494	△7%	482	461	△4%	434	440	+1%	471	423	△10%	523	498	△5%	652	623	△4%	7,717	7,332	△5%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】新車／月別販売台数(普通車・小型車、軽自動車)(1月～12月 全国統計)

単位(千台)

	1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減
普通・ 小型車	182	202	+11%	185	237	+28%	285	330	+16%	154	193	+26%	136	180	+32%	170	227	+34%
軽自 動車	91	118	+30%	105	120	+14%	142	148	+4%	91	96	+6%	75	92	+22%	98	105	+7%
合計	272	320	+17%	290	356	+23%	426	478	+12%	244	290	+19%	212	272	+28%	268	332	+24%

	7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計		
	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	前年 年間	直近 年間	増減
普通・ 小型車	187	222	+19%	154	183	+19%	212	238	+12%	186	215	+15%	193	225	+16%	181	201	+11%	2,223	2,651	+19%
軽自 動車	101	99	△2%	80	97	+22%	113	126	+11%	110	120	+9%	115	119	+4%	104	101	△3%	1,225	1,341	+9%
合計	288	321	+11%	234	281	+20%	325	363	+12%	296	334	+13%	308	344	+12%	284	302	+6%	3,448	3,993	+16%

※ 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

IR・企画課 **担当：岸部、中村**

【TEL】03-4233-8025 【FAX】03-4533-0103

【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com